

【短報】埼玉県におけるヒメドロムシ科2種の記録

埼玉県からはヒメドロムシ科15種が記録されているが(新井, 2007; 岩田・岩田, 2011; Kamite, 2015), 筆者らはこれまでに県内から正式な記録がないハバビドロムシ *Dryopomorphus extraneus* Hinton, 1936 とツヤナガアシドロムシ *Grouvellinus nitidus* Nomura, 1963 を得たため記録を公表する。

調査は河川中の流木や岩盤を目視観察するか、植物の根際を攪拌し、D型フレームネット(メッシュ0.4×0.7 mm)で掬い取る方法で行った。得られた個体は乾燥標本として保管している。記録に付記したメッシュコード(MC)は、Geocode Viewer(web.)を用いて世界測地系の設定で3次元メッシュを算出した。

1. ハバビドロムシ *Dryopomorphus extraneus* Hinton, 1936 (図1)

記録: 1頭, 埼玉県飯能市南川伊豆ヶ岳(標高350 m 付近, 図2・3) [MC: 5338-7626], 31-V-2015, 神田雅治採集・保管; 1頭, 同地名(標高500 m 付近) [MC: 5339-7123], 31-V-2015, 神田雅治採集・保管; 14頭, 埼玉県秩父市大滝入川(標高750 m 付近) [MC: 5338-7626], 6-XI-2015, 神田雅治・井上修吾・広瀬勇輝採集・採集者がそれぞれ保管。

埼玉県における知見: 新井(2007)のリストに本種は含まれているが、環境アセスメントで記録されたのみであり標本の所在



図1. 埼玉県産ハバビドロムシ全形(スケールバー=1 mm)。



図2. 埼玉県のハバビドロムシ生息環境。A, 河川源流; B, 河川上流。

も明らかでないため「県内の正式な記録には含まないで置く」と言及している。本報告により標本を伴って初めて県内から記録された。

形態的特徴: 佐藤(1985), 林(2011)の記述とよく一致したが, 鞘翅間室の隆起は吉富(2006), 緒方・中島(2006), 林(2011)に図示された個体と比較して目立たなかった。

生息環境: 河川源流(図2A)から上流域(図2B)に生息し, 流木表面の亀裂や窪みに付着した状態で見つかるといわれる(林, 2011)。記録個体の採集状況も同様であり, 腐朽が進んだ杉より得られた。埼玉県では比較的標高の高い場所からのみ記録されており, いまのところは低標高では得られていない。

2. ツヤナガアシドロムシ *Grouvellinus nitidus* Nomura, 1963 (図3A-C)

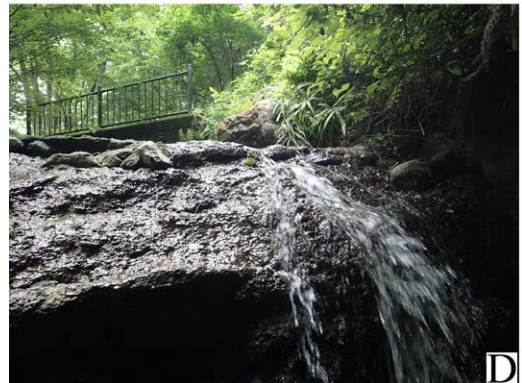
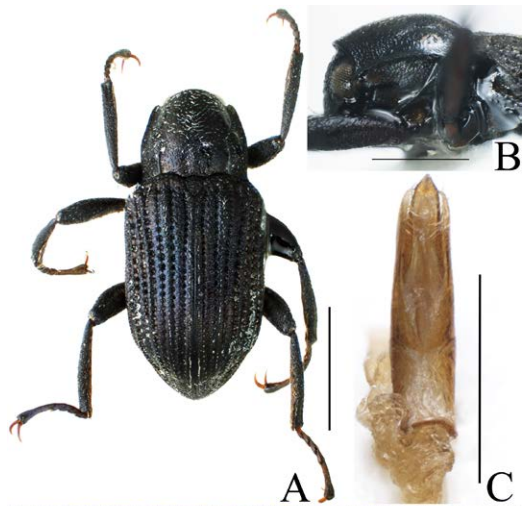


図3. 埼玉県産ツヤナガアシドロムシとその生息環境(スケールバー=1 mm)。A, 全形; B, 前胸背板; C, 雄交尾器; D, 生息環境。

記録:47 成虫 5 幼虫, 埼玉県秩父市大宮押掘川(標高 330 m, 図 7) [MC: 5339-7066], 13-VI-2015, 岩田泰幸採集・保管(一部を中島淳博士が保管)。

形態的特徴: ツヤナガアシドロムシ(以下, ツヤと略記する)と近縁種のキベリナガアシドロムシ(以下, キベリと略記) *Grouvellinus marginatus* (Kôno, 1934) は形態がよく似ているが, 前胸を側方から見た時の湾曲度合で区別できる。Jeng & Yang (1998) や中島・緒方 (2006) によれば, ツヤは前胸が強く湾曲する(図 3B) のに対し, キベリは比較的平坦であるとされる。記録個体の中には前胸背板を側面から見た時の湾曲が両種の間隔的な特徴を示す個体も確認されたが, 福岡県産のツヤおよびキベリと比較した結果, 全てツヤと同定された。参考として記録個体の雄交尾器(図 3C) も示す。形態の種内変異幅については, 今後の検討を要する。

生息環境: 河川源流および上流部の主に飛沫帯(図 3D) 岩盤や礫, それらに生えるモスマット中から得られるとされる(緒方・中島, 2006; 林, 2011)。記録個体も同様の環境において得られ, 成虫と幼虫が同所的に観察された。本種は岩盤に限って見られ, 付近の河床からは採集できなかった。

これまでに埼玉県では主に河川上中流域の河床に生息するヒメドロムシ科の種が記録されており, 今回記録した種も含めると合計 16 種が記録されたことになり, 近隣他県(東京都, 神奈川県, 千葉県, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 静岡県) の状況と比較してもその解明度は高い(例えば, 新井, 2007; 茶珍, 2015)。

今回の記録した種は, いずれもこれまでに調査が十分に実施されていなかった次のような環境: (1) 源流域の流木(ハバビドロムシ), (2) 源流から上流域の飛沫帯(ツヤナガアシドロムシ) からそれぞれ得られた。今後の調査では前述のような環境を重点的に調査することで未記録種が追加されると考えられる。

本報告を執筆するにあたり原稿をご校閲いただいた新井浩二氏(埼玉県嵐山町), ツヤナガアシドロムシの同定に関してご助言をいただくとともに比較標本を恵みいただいた中島淳博士(福岡県保健環境研究所), 標本写真撮影の岩田朋文氏(愛媛大学環境昆虫学研究室) に御礼申し上げます。また, 第一著者の調査に関して日頃からご助言をいただいている茶珍護博士(ぐんま昆虫の森), 部活動にてご指導いただいている岸本栄子氏(星野高等学校), 採集データをご提供くださった井上修吾氏(城北高等学校) および広瀬勇輝氏(城北埼玉高等学校)

にも感謝の意を表したい。

引用文献

- 新井浩二, 2007. 埼玉県のヒメドロムシ類. 寄せ蛾記, (125): 1-21.
- 茶珍護, 2015. 群馬県産流水性甲虫類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 231-249.
- Geosense Inc. (2006) Geocode Viewer. (2015 年 12 月 5 日参照) [<http://www.geosense.co.jp/map/tool/geoconverter.php>]
- 林 成多, 2011. 島根県の水生甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (1): 1-117.
- Jeng, M. L. & P. S. Yang, 1998. Taxonomic review of the genus *Grouvellinus* Champion (Coleoptera: Elmidae) from Taiwan and Japan. Proceedings of the Entomological Society of Washington, 100(3): 526-544.
- 岩田泰幸・岩田朋文, 2011. 埼玉県から初記録となるアカツヤドロムシ. さやばねニューシリーズ, (1): 13-14.
- Kamite, Y., 2015. Revision of the genus *Optioservus* Sanderson, 1953, part 2: The *O. maculatus* species group (Coleoptera: Elmidae). Koleopterologische Rundschau, 85: 197-238.
- 緒方 健・中島 淳, 2006. 福岡県のヒメドロムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 127-143.
- 佐藤正孝, 1985. ヒメドロムシ科. 原色日本甲虫図鑑 II (上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝編): pp. 434-440. 保育社.
- 吉富博之, 2006. 11 章 清流の妖精ヒメドロムシ. 森と水辺の甲虫誌(丸山宗利編著), pp. 201-214. 東海大学出版会.

(神田雅治 350-0064 川越市末広町 3-9-1 星野高等学校 科学部 3 年)

(岩田泰幸 160-0022 新宿区新宿 2-1-8 エスケー新宿御苑ビル 6 階 公益財団法人文化財虫菌害研究所 (e-mail: laccotrepes_1874@yahoo.co.jp))

【訂正】「伊豆諸島御蔵島からのクロスジムクゲテントウダマシの記録」の訂正

筆者は本誌 21 号の 16 ページでクロスジムクゲテントウダマシ *Stenotarsus internexus* Gorham, 1887 のタイプ産地の一つ Kashiwagi を「和歌山県伊都郡かつらぎ町柏木」と考えられていると記したが, 誤りであったので訂正する。

Bates (1883) が日本で Lewis の辿った足跡を記述した文章および地図から判断して, 正しくは奈良県吉野郡川上村に存在する柏木のことと考えられる。

ご指摘をくださった秋田勝己氏に心よりお礼申し上げます。

Bates, H. W. 1883. Supplement to the geodephagous Coleoptera of Japan, chiefly from the collection of Mr. George Lewis, made during his second visit, from February, 1880, to September, 1881. The Transactions of the Entomological Society of London 1883: 205-290, pl. xii, xiii.

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町 32-17)